



平成 18 年 2 月 9 日

株式会社ライブドア

代表取締役 熊谷 史人

(証券コード 4753 東証マザーズ)

問い合わせ先 経営企画管理本部

担当執行役員副社長 落合 紀貴

(TEL 03 - 5788 - 4753)

(訂正) 平成 17 年 9 月期決算短信(連結)の一部訂正に関するお知らせ

平成17年11月17日に公表しました第10期事業年度の会計期間(自 平成16年10月1日 至 平成17年9月30日)に係る決算短信(連結)について、一部訂正がございましたのでお知らせいたします。

決算短信(連結)の修正箇所 (_____下線を引いております。)

本文P4:

3. 経営成績及び財政状態 (当連結会計年度の概況)

事業の種類別セグメントの業績の箇所

なお、決算短信(連結)のみの訂正であり、有価証券報告書の訂正はございません。

以上

(訂正前)

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

コンサルティング事業につきましては、ビジネス戦略構築などのコンサルティングや中規模WEBシステム開発、コールセンター事業などが業績を牽引したほか、子会社であるライブドアマーケティングが子会社化したミックプランニングの業績が寄与し、大幅な増収となり、売上高は2,270百万円（前年同期比113.2%増）となりました。しかし、本年8月にライブドアマーケティング株式の当社保有割合低下により子会社ではなくなったため、本事業に係るライブドアマーケティンググループに属する7社については本年9月より連結対象から外れております。また法人向けコンサルティングソリューション事業についても本年9月にライブドアマーケティングヘライブドアビジネスソリューションズの譲渡により、事業を移管しております。

モバイルソリューション事業においては、ポータルサイト「livedoor」のモバイル版の閲覧数が飛躍的に増加するなど、既存事業であるモバイルコンテンツビジネスは堅調に推移しましたが、前期に当社グループに加わりました携帯電話販売を扱う複数の子会社については、事業領域再構築の一環として本年7月より本事業より外れたため、売上高は261百万円（前年同期比85.7%減）となりました。

ネットワークソリューション事業においては、情報漏えい対策意識の社会的高まりを受け、データセンター移設の大型案件を受注するなど堅調に推移しましたが、法人向けソリューション事業の縮小により、売上高は561百万円（前年同期比39.8%減）となりました。なお子会社のターボリナックスが、本年9月15日に大証ヘラクレス市場に上場しております。

ネットメディア事業においては、知名度向上を背景にポータルサイト「livedoor」の閲覧数が飛躍的に増大し、広告収入、有料課金収入が順調に増加し、売上高は1,317百万円（前年同期比9.8%増）となりました。既存主力サービスである「livedoor ブログ」は日本国内のブログサービスで利用者数No.1を誇り、一方で本年2月にベストリザーブを子会社化するなど「livedoor」のコンテンツの充実を引き続き図っております。

イーコマース事業においては、前期に開始しましたショッピングモール型ECサイト「livedoorデパート」の出店数の増加、誘致活動に尽力し、出店数は7,600店舗を超えております。これを受けて売上高は1,445百万円（前年同期比61.1%増）となりました。また来期からの連結対象となりますが中古車オークション市場への進出を目的として、本年9月にジャック・ホールディングスを子会社化しております。

ソフトウェア事業においては、昨年11月に子会社化いたしました弥生が業績に大幅に寄与しており、収益の大半を占め、売上高は8,867百万円（前年同期比429.0%増）となりました。

イーファイナンス事業においては、子会社のライブドア証券が順調に業績に寄与したほか、電子マネーbitcashの事業規模が急拡大いたしました。また、プライベートエクイティ業務が大きく収益に貢献いたしました。その他ビー・ジャパンを子会社するなど消費者向けローン事業を強化したことにより、売上高は45,812百万円（前年同期比112.8%増）となりました。なお本事業に係わる子会社を統括する中間持ち株会社として、本年2月にライブドアフィナンシャルホールディングスを設立しております。

※なお、上記金額には消費税は含まれておりません。

(訂正後)

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

コンサルティング事業につきましては、ビジネス戦略構築などのコンサルティングや中規模WEBシステム開発、コールセンター事業などが業績を牽引したほか、子会社であるライブドアマーケティングが子会社化したミックプランニングの業績が寄与し、大幅な増収となり、売上高は7,450百万円（前年同期比182.3%増）となりました。しかし、本年8月にライブドアマーケティング株式の当社保有割合低下により子会社ではなくなったため、本事業に係るライブドアマーケティンググループに属する7社については本年9月より連結対象から外れております。また法人向けコンサルティングソリューション事業についても本年9月にライブドアマーケティングヘライブドアビジネスソリューションズの譲渡により、事業を移管しております。

モバイルソリューション事業においては、ポータルサイト「livedoor」のモバイル版の閲覧数が飛躍的に増加するなど、既存事業であるモバイルコンテンツビジネスは堅調に推移しましたが、前期に当社グループに加わりました携帯電話販売を扱う複数の子会社については、事業領域再構築の一環として本年7月より本事業より外れたため、売上高は5,166百万円（前年同期比60.0%増）となりました。

ネットワークソリューション事業においては、情報漏えい対策意識の社会的高まりを受け、データセンター移設の大型案件を受注するなど堅調に推移しましたが、法人向けソリューション事業の縮小により、売上高は3,781百万円（前年同期比5.8%増）となりました。なお子会社のターボリナックスが、本年9月15日に大証ヘラクレス市場に上場しております。

ネットメディア事業においては、知名度向上を背景にポータルサイト「livedoor」の閲覧数が飛躍的に増大し、広告収入、有料課金収入が順調に増加し、売上高は5,896百万円（前年同期比152.4%増）となりました。既存主力サービスである「livedoor ブログ」は日本国内のブログサービスで利用者数No.1を誇り、一方で本年2月にベストリザーブを子会社化するなど「livedoor」のコンテンツの充実を引き続き図っております。

イーコマース事業においては、前期に開始しましたショッピングモール型ECサイト「livedoorデパート」の出店数の増加、誘致活動に尽力し、出店数は7,600店舗を超えております。これを受けて売上高は1,445百万円（前年同期比60.2%増）となりました。また来期からの連結対象となりますが中古車オークション市場への進出を目的として、本年9月にジャック・ホールディングスを子会社化しております。

ソフトウェア事業においては、昨年11月に子会社化いたしました弥生が業績に大幅に寄与しており、収益の大半を占め、売上高は8,867百万円（前年同期比420.3%増）となりました。

イーファイナンス事業においては、子会社のライブドア証券が順調に業績に寄与したほか、電子マネーbitcashの事業規模が急拡大いたしました。また、プライベートエクイティ業務が大きく収益に貢献いたしました。その他ビー・ジャパンを子会社するなどコンシューマ向けローン事業を強化したことにより、売上高は45,812百万円（前年同期比177.9%増）となりました。なお本事業に係わる子会社を統括する中間持ち株会社として、本年2月にライブドアフィナンシャルホールディングスを設立しております。

※なお、上記金額には消費税は含まれておりません。

以上

